

第13回「住友理工 ^{ゆめ まち びと} 夢・街・人づくり助成金 in 北尾張」
助成金交付申請書

申請日：令和4年 7月 00日

住友理工 夢・街・人づくり助成金審査委員会 御中

1. 申請団体について

団体名	(ふりがな) 〇〇〇おたすけたい		
	〇〇〇 お助け隊		
代表者氏名	(ふりがな) とうかい たろう		
	東海 太郎		
団体所在地	〒480-0126 丹羽郡大口町伝右0-00		
団体連絡先	TEL (0587) 00-0000	FAX (0587) 00-0000	
	E-mail oguchi-XX△△@0000.ne.jp		
ホームページ	http://oguchi-XX△△.jp		
担当者連絡先 (代表者と同一の場合は記載不要)	(ふりがな)		
	氏名		
	TEL (連絡の取りやすい番号)		
	E-mail		
設立年月日 (活動開始時期)	平成28年4月1日	構成人数	5人
団体の活動目的 (団体の設立目的・活動目的)	この団体は、〇〇地区の高齢者のみの世帯や高齢者の一人暮らし、体が不自由な方、子育て中の方など支援を必要とする方を対象に、日常生活で困っていることなどを手助けする活動を行うことを目的とする。		
主な活動場所・活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼者の自宅などで、高齢者や障がい者への庭の草刈り、買い物代行などの生活支援 ・子育て中の母親への相談などの支援 		

2. 提出書類について ※必ず口チェックを入れること。

- 1) 助成金交付申請書
- 2) 団体の会員名簿 (任意様式)
- 3) 団体の規約、会則等 (任意様式)

3. 申請事業について

(1) 申請区分

助成金の区分 (申請する部門にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 夢づくりスタート部門 (50,000 円) <input type="checkbox"/> 街・人づくり部門 (100,000 円)	
該当する分野 (該当するものにチェック※複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> ダイバーシティへの貢献 <input type="checkbox"/> 青少年の育成への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> まちづくりへの貢献 <input type="checkbox"/> 市民活動への貢献 <input type="checkbox"/> 自然環境との共生への貢献	
SDGs の目標 (申請事業に当てはまると思う項目にチェック ※複数可)	<input type="checkbox"/> 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> 飢餓をゼロに <input checked="" type="checkbox"/> すべての人に健康と福祉を <input type="checkbox"/> 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> 安全な水とトイレを世界中に <input type="checkbox"/> エネルギーをみんなに そしてクリーンに <input type="checkbox"/> 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> 産業と技術革新の基盤を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 人や国の不平等をなくそう <input type="checkbox"/> 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> つくる責任、つかう責任 <input type="checkbox"/> 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> 陸の豊かさも守ろう <input type="checkbox"/> 平和と公正をすべての人に <input checked="" type="checkbox"/> パートナリーシップで目標を達成しよう	
他助成金との併用	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	

(2) 実施したい事業について記入してください。

申請事業名	高齢者のお困りごと支援 事業
事業実施期間	令和 4年 00月 00日～令和 5年 00月 00日まで
1) なぜ、この事業を行うのですか？	
<p>①社会課題や社会ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しており、孤立死（孤独死）も増加傾向にある。また、「誰とも会話をしない」、「近所づきあいをしない」、「困った時に頼れる人がいない」など、社会から孤立した状態となり、生活に不安を感じることに繋がる。 ・コロナ禍による外出自粛で、人との交流の機会が減っている高齢者が多くなっている。 <p>②事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での困りごとの支援やコロナ禍に応じた支援を行うことで、これからの高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指す。 	

2) どのような事業を行いますか？

<事業内容を具体的に記入>

①いつ

〇月～〇月

②どこで

〇〇地区の依頼者の自宅など

③何を何回（内容・講師など）

依頼のあった際に支援を行う。また、定期的に高齢者宅を訪問する。

例) 電球・蛍光灯の交換、家具や荷物の移動、自宅の清掃、庭の草刈り、生活用品の買い物、外出支援、話し相手になる など

④誰に（対象者）

一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯の方

⑤安全性の担保方法（感染症対策や参加者の安全の確保など）

・ボランティア保険に加入する。

・感染症対策として、訪問する際は手指消毒やマスクの着用、対人距離の確保に努め、作業などを行う。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言などが発令された場合は、訪問は控え、電話やはがきなどで状況の聞き取りを行う。

3) どのようなスケジュール・体制で事業を行いますか？

<いつ頃、どのような体制（役割分担・協力先など）で行うかを記入>

①準備期間

〇月上旬 団体メンバーで事業内容の詳細を決定

〇月下旬 チラシなどによる依頼の募集（募集は随時行う）

チラシ配布の際には自治会や民生委員に協力を依頼する

②中間報告時期

〇月 中間報告書の提出

③実施時期

〇月～〇月 団体メンバーが依頼者の自宅にて生活支援活動

④検証期間

〇月 団体メンバーで事業の振り返り

⑤実績報告時期

〇月 事業報告書の作成提出

4) その事業を行うことにより、どのような効果が期待できますか？

<誰にどのような効果をもたらし、どのように変わるのかを記入>

- ・支援活動を行うことで、地域にどのような方がいるのか把握でき、孤立死などを防ぐことができる。
- ・近所づきあいをするようになり、頼れる人ができることで、生活の不安がなくなっていく。
- ・高齢者が安心して暮らせる地域をつくるきっかけとなる。

5) 申請事業終了後、どのように発展させていきたいですか？

＜社会全体に対して＞

助成終了後も引き続き支援活動を行い、町内の他地区へも広げる活動を行う。

高齢者や障がい者、子育て世代の方など、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。

＜団体運営に対して＞

現在は無料で行っているが、今後は依頼の内容に応じた利用料を設定すること、また積極的に活動のPRを行い、会員の増強に努めるなど、事業を継続できるような仕組みづくりを進めていく。また、専門性が必要な作業も行えるように、人材育成にも取り組む。

6) この事業にかける熱意や自団体ならではのアピールをお書きください。

- 現在、〇〇地区では特に高齢化が進んでおり、公的なサービスだけでは解決できない地域課題が数多くあります。そのため、自分たちの地域の課題は自分たちで解決していくことが必要です。高齢者や障がい者、子育て世帯の支援を行うことで、住民同士のつながりが生まれ、お互いに助け合う地域づくりが実現できればと考えています。
- この団体のメンバーは、シニア世代で構成されています。自分たち自身も高齢者と言われる年齢であるため、依頼される方の気持ちがわかるメンバーでもあります。

(3) 申請事業における収支計画書

収入の部

(単価：円)

項目	金額	摘要
①夢・街・人づくり助成金	50,000	助成金
②その他助成金	20,000	〇〇助成金
③自己資金	5,000	団体会費より
④その他の資金		
合計(A)	75,000	

支出の部

(単価：円)

項目	金額	摘要	
助成対象経費	人件費	15,000	スタッフ人件費@500×5人×10回(ガソリン代含む) (25,000円の内、助成対象経費は15,000円)
	通信運搬費	10,000	チラシ等送付代@84×120通程度
	印刷製本費	10,000	チラシ等作成費(紙代5,000円・印刷代5,000円)
	消耗品費	10,000	文具等購入費(筆記具・封筒・消毒液等)
	使用料・賃借料	5,000	会場使用料(事業打合せ等・月1回程度)
	食糧費	5,000	打合せ・作業時お茶代
	保険料	3,000	保険料@100×30名
	計(B)	58,000	
助成対象外経費	人件費	10,000	スタッフ人件費(助成対象外経費分)
	食糧費	2,000	打合せ・作業時お茶代(助成対象外経費分)
	物品購入費	5,000	工具等購入費
	計(C)	17,000	
合計(B+C=A)	75,000		